

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2023年 6月 1日			
大分県知事 殿			
		提出者 株式会社ジェイエイフーズおおいた 住 所 大分県杵築市大字本庄14 氏 名 代表取締役社長 大塚 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0978-62-6500	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2022年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社ジェイエイフーズおおいた		
事業場の所在地	大分県杵築市大字本庄1453番地の1		
事業の種類	飲料製造業 (1011)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日		
R			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙3-1 t	全処理委託量	別紙3-1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3-1 t	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3-1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3-1 t	再生利用業者への処理委託量	別紙3-1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3-1 t	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3-1 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3-1 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3-1 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

2022年度計画処理実施状況 (実績)

単位:ト

		2022年度 排出量 目標	①2022年度 排出量 (実績)	②自己直 接再生利 用量	③自己直 接埋立て 処分又は 海洋投入 量	④自己中 間処理量	⑤ ④の内熱 回収した 量	⑥自己中 間処理残 さ量	⑦自ら中 間処理に より減量し た量	⑧自己中 間処理後 再生利用 量	⑨自己中 間処理後 直接埋立 て処分又 は海洋投 入量	全処理委託量				
												⑩直接及 び自ら中 間処理し た後の処 理委託量	⑪の内 ⑩の内優 良認定処 理業者へ の委託量	⑫の内 ⑩の内再 生利用業 者への処 理委託量	⑬の内 ⑩の内熱 回収業者 への処理 委託量	⑭の内 ⑩の内熱 回収認定 業者以外 への熱回 収業者へ の処理委 託量
食物残渣	搾汁粕	2,500.00	2,096.40	2,096.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
汚泥	汚泥	500.00	375.40	375.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	木くず	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック	廃プラ	22.00	23.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	23.58	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス屑/ガレキ	ガレキ・ガラス	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	焼却灰	2.00	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00
スレートくず	スレートくず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	廃油	0.10	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00
廃酸	廃酸(基準値 外有害物質含)	0.10	0.045	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.045	0.045	0.00	0.00	0.00
廃油	溶剤(基準値 外有害物質含)	0.010	0.180	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.180	0.180	0.00	0.00	0.00
PCB汚染物	絶縁油・トランス	-	2.600	0.000	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.600	2.600	0.00	0.00	0.00
動・食物残渣	生原料	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計		3026.46	2499.62	2471.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	27.82	3.13	0.00	0.00	0.00

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

2023年度処理計画 (目標)

単位: t

目標)		2022年度 排出量 (実績)	①2023年度 発生量目標	②自己直 接再生利 用量	③自己直 接埋立て 処分又は 海洋投入 量	④自己中 間処理量	⑤ ④の内熱 回収した 量	⑥自己中 間処理残 さ量	⑦自ら中 間処理に より減量し た量	⑧自己中 間処理後 再生利用 量	⑨自己中 間処理後 直接埋立 て処分又 は海洋投 入量	全処理委託量				
												⑩直接及 び自ら中 間処理し た後の処 理委託量	⑪の内優 良認定処 理業者へ の委託量	⑫の内再 生利用業 者への処 理委託量	⑬の内熱 回収業者 への処理 委託量	⑭の内熱 回収認定 業者以外 への熱回 収業者へ の処理委 託量
食物残渣	搾汁粕	1,930.00	2,500.00	2,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
汚泥	汚泥	375.40	500.00	500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック	廃プラ	23.58	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	焼却灰	1.11	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス屑/ガレキ	ガレキ・ガラス	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	廃油(ベンキ類)	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00
廃酸	廃酸(基準値外 有害物質含む)	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00
廃油	溶剤(基準値外 有害物質含む)	0.180	0.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.18	0.18	0.00	0.00	0.00
PCB汚染物	絶縁油・トランス	2.600	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
動・食物残渣	生原料	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計		2,333.22	3,021.73	3,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	21.73	0.53	0.00	0.00	0.00

廃棄物処理フロー図

④2023年度 産業廃棄物の一連の処理工程

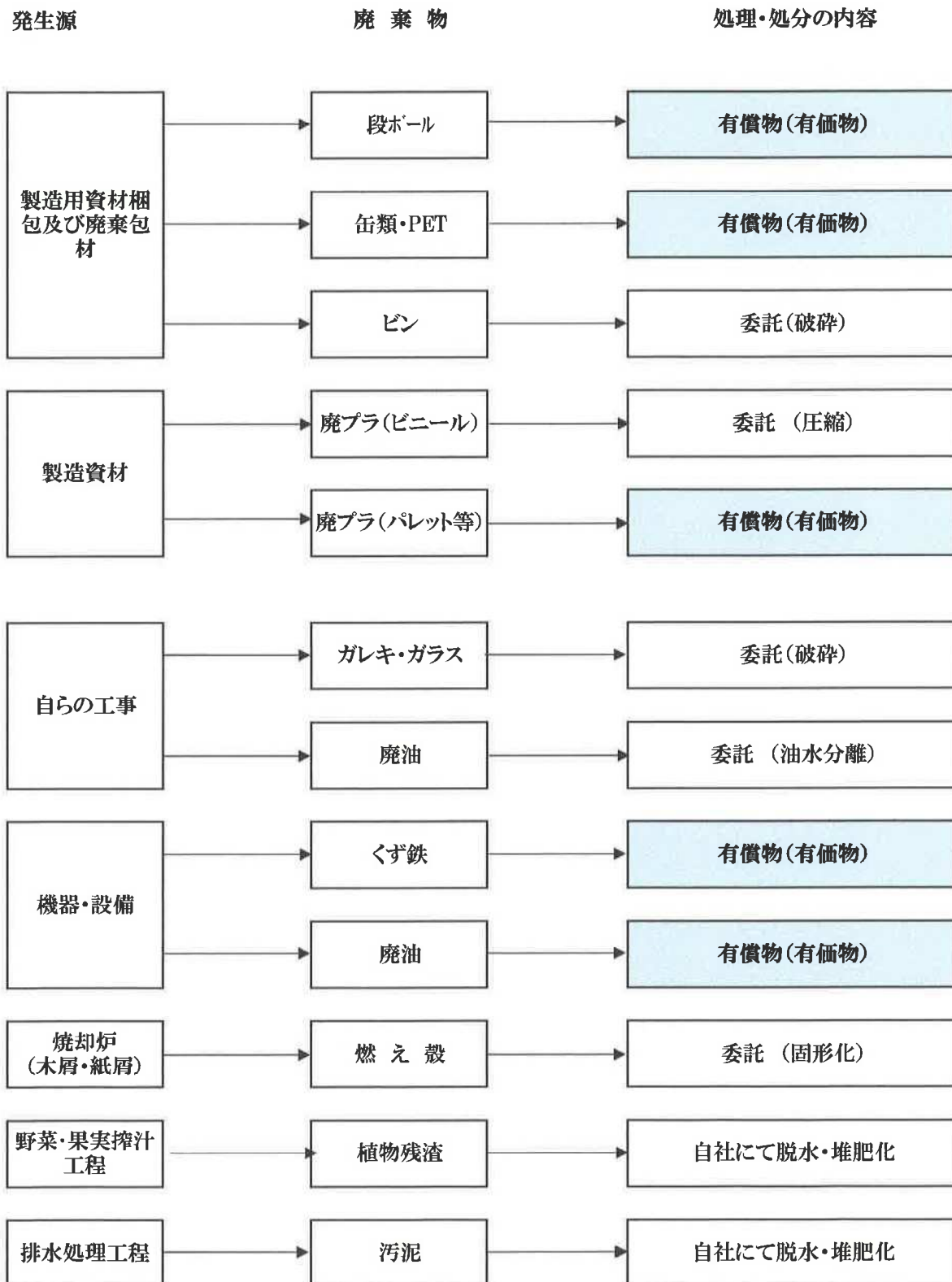


図1 コーヒー飲料製造フローシート
(茶飲料もほぼ同工程) 2023年度

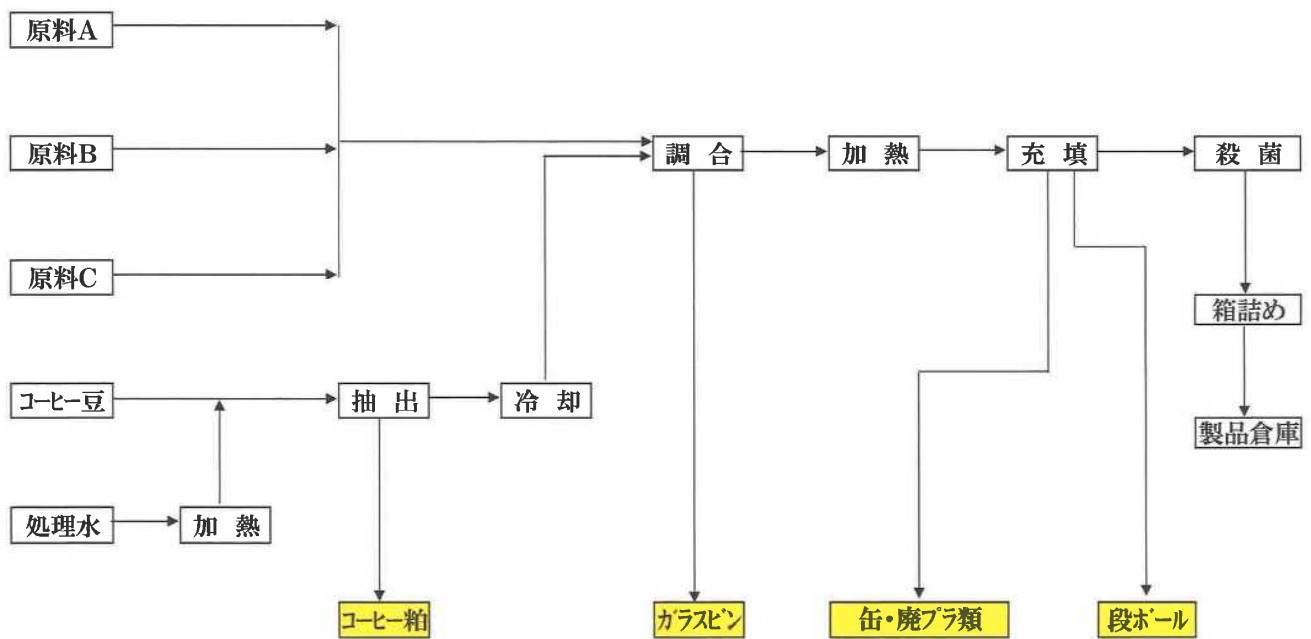


図2 残渣物発生フローシート

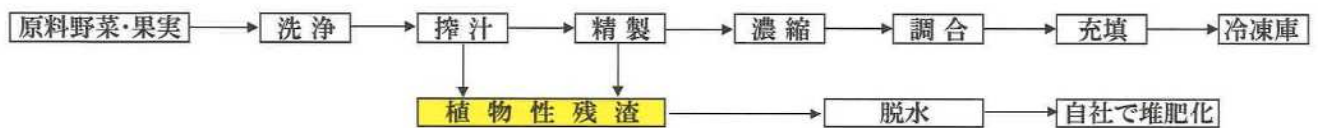
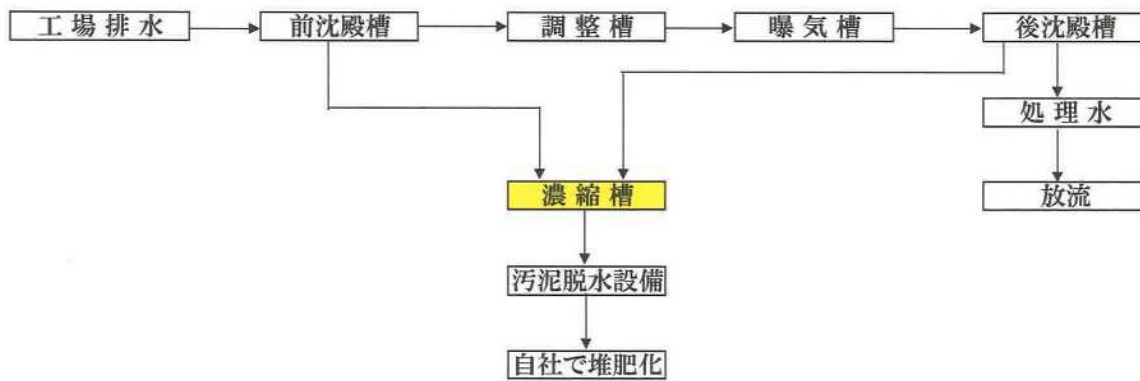


図3 排水フローシート



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 2023年度 管理体制及び役割

名 称	氏 名	内 容
統括管理責任者	代表取締役社長 大塚 修司	①廃棄物の処理に関する統括・報告・承認・予算の抽出
廃棄物企画推進者	取締役管理部長 [REDACTED]	①廃棄物処理計画の策定 ②発生抑制、再生、中間処理の推進と適正処理 および運営管理に必要な事項の検討 契約内容の確認 有効期限・変更内容の確認
廃棄物担当者	(正) 施設課長 [REDACTED] (副) 施設課長代理 [REDACTED]	①廃棄物処理計画の作成 ②廃棄物の管理状況把握と改善策検討 ③中間処理・最終処分業者の選定と委託 契約の実施、管理 有効期限 変更内容確認 ④マニフェスト票の交付と管理 ⑤監督官庁への各種報告書の作成 ⑥社員への廃棄物に関する指導・教育の実施

(2) 管理体制の強化

①管理体制

工場内の各部署と協力し、廃棄物処理に関する組織の編成を強化する。

(3) 方法

①発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し
企業全体で発生の抑制に努める。